

わがまま姫の難問

推奨 ChLv:2

毎回とんでもない依頼を持ち込むことで有名なわがままプリンセス。そんな彼女からあなた達へと依頼が舞い込んできた。難題で数多のライバー達を困らせる彼女の依頼とはいったい？



フォアプレイ

このシナリオは、一回以上冒険をしているチャンネルレベル2以上のプレイヤー4人で遊ぶことを推奨しています。



導入

タマリバでくつろぐプレイヤー達の様子を軽く描写し、そこへギルドからの使命依頼が届く流れを自然に提示する。依頼主が“わがままプリンセス”第三姫乃であると明かし、彼女がこれまで数多くのライバーを振り回してきた存在であること、しかし同時に彼女の依頼は配信的な旨味が大きく、成功すればチャンネル登録者が増えるという実績があることを伝えてください。最後に、プレイヤーが依頼を受ける動機づけを行い、最終的に「とりあえず依頼を受けてみよう」という形で締めくくってください。

●描写

タマリバで束の間の休息を楽しんでいたあなた達のもとに、突然タンマツの着信音が響く。画面に表示されたのは、ギルドからの緊急連絡。内容は、あなた達への“使命依頼”だった。

依頼主の名を見た瞬間、胸の奥がざわつく。

そこに記されていたのは——無茶ぶり・思いつき・気まぐれの三拍子が揃った難題で、多くのライバーを泣かせてきた“わがままプリンセス”、第三姫乃。

彼女の依頼は、厄介であることがほぼ確定している。

しかし同時に、それは配信を大きく盛り上げる“最高のスパイス”でもあった。

実際、彼女の依頼を請けたライバーは例外なくチャンネル登録者数を伸ばし、話題性を獲得してきたという。

期待と不安が入り混じる中、あなた達は決断する。

——とりあえず、依頼を受けてみるか。

こうして、また新たな“わがまま姫の難問”が幕を開けるのだった。



わがまま姫との邂逅

依頼を受けたPCたちは、そのまま姫乃とのビデオ通話シーンへ移行する。通話はタンマツ越しに行われるため、PCたちは全員「ファッション」アプリを適用した姿で彼女と対面することになる。画面に映った姫乃は、開口一番「いま、縛りプレイなるものを見るのにハマっておるのじゃ」と宣言し、続けて「新人ながら伸びしろのあるあなた達が、おもしろい縛りプレイで四苦八苦している姿を眺めたい」と、底意地の悪い笑みを浮かべながら告げる。

今回の依頼内容は、直近で発生するダンジョンを攻略し、その中でモンスターと遭遇した際には、姫乃の要望に応じて行動することが条件となる。依頼の達成度に応じて《クレジット》を支払うと約束し、さらに前金として《ダイナマイト》を渡してくれる。最後に「それでは、ダンジョンが発生するのを楽しみにしているのじゃ！」と満足げに言い残し、通話は終了する。

GMはこの流れをそのまま提示し、姫乃の性格や“わがままぶり”が伝わるように演出しながら、プレイヤーに依頼内容と条件を明確に伝えてください。



ダンジョンパート

ダンジョンに突入したPCたちは、まず視聴者に向けて「今回はわがままプリンセスからの依頼を受けている」という企画内容を説明しながら配信を開始することになる。配信画面のコメント欄には、すぐに「Himeno3rd」というアカウントから書き込みが入り、姫乃本人がリアルタイムで視聴しながら指示を送ってくることが明らかになる。以降の探索では、ダンジョンの進行に合わせて姫乃から次々と要望や無茶ぶりが飛んでくるため、PCたちはその都度、彼女の指示に応えながら行動しなければならない。姫乃のコメントは配信の盛り上がりを意識したものが多く、時には理不尽で、時には悪ノリが過ぎる内容になるが、それに答えることが今回の依頼の重要な条件となっている。

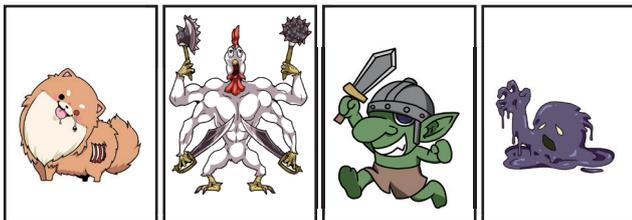
GMは、姫乃の指示とダンジョンのギミックを絡めながら、PCたちが最終的にダンジョンコアの破壊へと向かう流れを作る。プレイヤーが姫乃の要望に振り回されつつも、配信的に面白い展開になるよう、姫乃のコメントとダンジョンの状況を適度に演出していくことが求められる。

◆部屋1

●描写：基本ルールブック 86 頁、87 頁のダンジョン描写ランダム表を利用して描写してください。

●遭遇：ゾンビポメラニアン (115 頁)、チキンレッグ (132 頁)、ハニワ (138 頁)、フロアスペクター (156 頁)

登場モンスター



「ポメラニアン、生きてさえいればかわいいのに…これだと憎さ 100 倍ですわね。それじゃあ、ゾンビポメラニアンの《EP》を 3 回 0 にしなさい！」

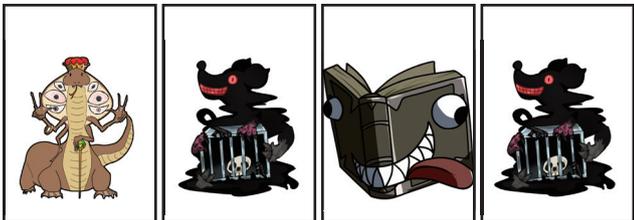
ここでは、ゾンビポメラニアンの《EP》を三回、0 にすることが彼女からの要望になります。つまり、ゾンビポメラニアンの【再生】を 2 回使わせたいので、さらにもう一度《EP》を 0 にして倒すことが求められま

◆部屋2

●描写：基本ルールブック 86 頁、87 頁のダンジョン描写ランダム表を利用して描写してください。

●遭遇：バジリスク (103 頁)、ライブワード (139 頁)、しまっちゃんおじさん (120 頁)

登場モンスター



「しまっちゃんおじさん…そういえば仕舞われたライバーを見たことがないわ！ ちょっと、あなたたち、誰でもいいから仕舞われなさい！」

ここでは、しまっちゃんおじさんのモンスタースキル【それじゃあしまっちゃんおうね】を誰か一人受けて、その効果を適用される必要があります。GMは積極的に【それじゃあしまっちゃんおうね】を使用してください。

◆部屋3

●描写：彼女からの要望を受けながら最奥へと進んだあなた達の前に、ダンジョンコアを取り込み特異個体となったアプリーターが現れた。だが、そんなときでも彼女からの要望は…止まらないっ！！

●遭遇：インプ (131 頁)、デモンズハンド (132 頁)、アプリーター (134 頁)、チキンレッグ (132 頁)
アプリーターは特異個体レベル 2。特異個体スキル【王の肉体】【絶対存在】を修得している。そのため、アプリーターの《EP》は 143 となる。

登場モンスター



「特異個体っていつも最後まで残るのよね…それじゃあ、特異個体を最初に倒しなさい。他のは倒しちゃだめよ？」

ここでは、アプリーター以外のモンスターから倒すことを禁止されます。まずはアプリーターを倒しましょう。



結末

●報酬について

このセッションを終えたあと、彼女からの要望にいくつ応えることができたのかによって報酬は変わります。

- ◆ 3つ成功…各自 4D10 点の《クレジット》を獲得、さらに各自《経験値》を獲得
- ◆ 2つ成功…各自 3D10 点の《クレジット》を獲得
- ◆ 1つ成功…通常通りの報酬
- ◆ すべて失敗…報酬はなし。

満足いく成果を得られた場合、あなた達は姫乃に痛く気に入られます。今後、彼女を使ってまた PC 達に無茶ぶりしてもらおうのもよいかもかもしれませんね。